

HEPATOLOGY NEWS

肝胆膵病態内科学ニュース

第12号 2015年6月 発行

巻頭言

皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。

昨日まで熊本市で開催されていた日本肝臓学会総会に出席しており原稿を書くのが遅れておりました。熊本市は暑い！大阪とは日射しが違います。閉会式には、ご当地キャラクター、くまもん、も現れて盛大な学会でした。学会では C 型慢性肝炎の治療が本年度も激変することが話題の中心でした。インターフェロンを用いた治療が20年以上に亘って続いてきたわけですが、それももう終焉を迎える時が来たようです。DAA を組み合わせた経口治療で実臨床で何%治癒するのか、治癒しない症例とはどのような因子によるのか、また、DAA でも発がんが予防されるのか。その一方で、肝硬変と肝がんの分子メカニズム解析と治療法には進歩が乏しいのも事実であり、さらなる研究の必要性を感じました。



さて、医局には本年度4名の新しい仲間が加わり、病棟で活き活きと仕事をしてくれています。彼らが成長し、経験をつみ、国内や国際的にもオピニオンリーダーになってゆく姿を今から楽しみにしています。また、田守昭博先生が4月1日付けで病院教授に就任されました。田守先生は長年にわたって医局のみならず、輸血部の管理等を通じて病院運営に貢献されてきました。その熟練の技を用いつつ、後輩の育成や臨床研究の推進を行なっていただけにと期待しております。

本年度は9月26日(土曜日)に第103回日本消化器病学会近畿地方会を開催させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、まだ企画段階ですが、8月1日(土曜日)に日本肝炎デーに因んだイベント(肝炎のことをもっと知ってもらおうという運動)をあべの近辺で開催する予定です。追ってご案内いたします。

(河田則文)



Contents

巻頭言	1
着任挨拶	2
新入医局員紹介	3
その他 スタッフ紹介	4
トピックス	5
大阪市立大学医学部附属病院	
肝胆膵内科 外来表	6
ホームページの主な更新内容	6
編集後記	6

着任挨拶

病院教授

田守 昭博

(たもり あきひろ)



河 田教授の推薦により本年4月1日に大阪市立大学医学部附属病院 病院教授（肝胆膵内科）の称号を頂きました。

平成19年4月より肝胆膵内科・輸血部の准教授を務めて参りましたが、皆様から公私ともに格別のご厚情をいただき心より感謝しております。今回、病院教授に就きましたことも皆様のご支援のお蔭と御礼申し上げます。

さて病院教授とはどんな役職か、私自身もまだ十分には説明できない点申し訳ありません。荒川哲男医学部学科長からは、「これからは、教授と名乗ってええんやで」と祝辞をいただきましたが、名称が変わった分その任務の重さも徐々に痛感しております。まずは診療、教育、研究の実績を毎年評価され、一定の基準をクリアしないと剥奪される可能性もある役職だと知らされました。年々、衰えつつある体力、視力を熟練の技で乗り越えているイチローの様に現役を貫く覚悟が必要なのだと考えています。まずは、私の経験をひとつの事例（良いか悪いかは別に）として若い人たちへ提示し決して押し付けることなく、一緒に学び、悩み、喜べる様に新鮮な視点で仕事に臨みたいと考えています。どうかこれからも宜しくお願い致します。

講師

萩原 淳司

(はぎはら あつし)



こ のたび、肝胆膵内科の講師を拝命いたしました。同門の先生方にはいつも多大なご指導とご支援を賜り有難うございます。まずは、紙面を借りまして、心から御礼申し上げます。

1999年、大阪市立大学卒業です。当時、ローテーション研修はなく、そのまま第3内科に入局いたしました。大学院在学中に国立がんセンター研究所の牛島俊和先生（現、副所長）の元に国内留学いたし膵癌の研究を始めました。学位取得後、国立がんセンター中央病院肝胆膵内科の奥

坂拓志先生の元で肝胆膵内科における診療、治療、臨床研究の進め方を学びました。2010年、大阪市立大学肝胆膵内科に復帰し、診療、研究、教育に携わってまいりました。同時に日本でまだ数少ない臨床腫瘍学会専門医（癌の専門医）として、化学療法センター運営にも関わっております。癌治療においては外科、放射線科、看護師、薬剤部、栄養士、ソーシャルワーカーとの協力及び連携体制が重要で定期的に検討会を行っております。研究に関しては、厚生労働科学研究委託費（日本医療研究開発機構研究委託費）に「超早期膵癌捕捉技術の開発」が採択され多施設共同研究を取りまとめております。また、大学病院という性格から、学生、研修医、研究医、大学院生の指導にも力を入れたいと思っております。今後も肝胆膵内科発展のため微力ではありますが努力する所存です。どうか、より一層のご指導ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

// 新入医局員紹介

前期研究医 周防 舞仁

(すおう まいと)



前 期研究医の周防舞仁と申します。大阪市立大学医学部附属病院にて初期臨床研修を終了した後、今年度より肝胆膵病態内科学で勤務させていただくこととなりました。

現在急激に進歩しているウイルス性肝炎だけでなく、がんや消化器、一般内科まで幅広く診療できる医師を目指し、日々業務に取り組んでおります。まだまだ未熟ではございますが、少しでも皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

前期研究医 森口 寛子

(もりぐち ひろこ)



2 015年度新入局員の森口寛子と申します。初期研修2年次に4ヶ月間肝胆膵内科をローテーションさせて頂き、肝胆膵分野の面白さと医局の先生方の魅力に魅せられ

入局を決めました。現在、腹部超音波検査の技術を極め診療に生かされるようになる事と、癌治療の成績向上に努める事を目標に考えておりますが、更に、肝炎・肝硬変・自己免疫疾患等肝胆膵分野全般を幅広く学び専門家として恥じない医療を提供できるよう尽力して参りたいと思ひます。御迷惑をお掛けすることも多々あるかと思ひますが、御指導宜しくお願ひ申し上げます。

前期研究医 長谷川 智己

(はせがわ ともき)



2 015年新入局員の長谷川智己です。金沢医科大学を卒業後、大阪市立大学附属病院で二年間研修を行いました。元々内科を志望しており、二年目に肝胆膵内科を

四ヶ月間ローテーションしました。肝炎治療、肝癌治療に興味を持つようになり、医療に対して熱心な先生方の姿を見て入局を決めました。今年は、同期が三人おり、今後

お互い切磋琢磨し成長できればと考えております。また、医局の先生方、病棟スタッフに恵まれ、日々、充実した診療、勉強をさせていただいております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多々あるかと思ひますがどうぞよろしくお願ひいたします。

前期研究医 焦 光裕

(しょう みつひろ)



2 015年度より肝胆膵病態内科学の前期研究医として大学に勤務させていただくこととなりました。

手技も知識も至らない若輩者ですが、諸先生方のもと精進していきたくと思ひます。

今の夢は、担当した患者様に「先生に診てもらえてよかった」といっていただくことです。

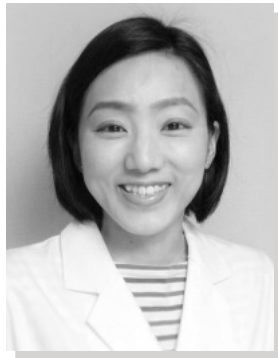
趣味：いわゆるインドア系の趣味のほか、マンドセロという楽器やサイクリングなど

// その他スタッフ紹介

研究員

上田 貴子

(うえだ たかこ)



I 学系研究科にて学位取得後、より医療の現場に近いところで、癌の研究に携わりたいと思い、2014年より、膵臓癌に関する研究をさせていただいております。もうすぐ一年が経ちますが、知識も技術もまだまだ毎日勉強の日々です。普段は南館にいますが、17階でのミーティングや機能細胞形態学講座と合同のゼミでは、色々な研究をしている方々の話が聞けたり、ゼミの時だけでなく、研究室を訪ねて実験方法や研究について聞けば、親切に教えて下さる先生方がいる環境をととても嬉しく思っています。実際の医療に応用できるような研究ができるようがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

研究補佐員

安藤 真珠

(あんどう まり)



2 014年11月より勤務を開始し、村上先生と萩原先生の研究費の管理や実験補助をさせて頂いております。前職では呼吸器のがん登録、またそのデータを用いて5年生存率の統計データ作成などに携わっておりました。今年3月に診療情報管理士免許を取得しました。創薬という最先端分野で、新たな事を学ぶ楽しさを感じながら日々業務を行っております。先生方の研究が円滑に進むよう、精勤してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

秘書

林 まどか

(はやし まどか)



2 014年7月より、研究室秘書として勤めさせて頂いております。林まどかと申します。今後も研究室の皆様が快適にお仕事をされるようなサポートを目指して、日々精進してまいります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

大学院生

翁 良徳

(おきな よしのり)



2 015年4月から大学院修士課程に入学した翁良徳です。鍼灸師として診療所に勤める中で、未だ説明のつかない東洋医学の効果に対して自分自身の答えを見出したいと強く思い大学院に進学する決心をしました。研究は初めての経験ばかりで慣れないことも多く、ご迷惑をお掛けしますが日々精進していきますので今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

大学院生

Nguyen Thi Thanh Hai

(グエンチィ タン ハイ)

I am Nguyen Thi Thanh Hai, graduated at Hanoi Medical University, Vietnam in 2006. Then, I worked as general practitioner at a hospital, focused on internal diseases such as cirrhosis, hepatitis, gastrointestinal disorder ... After that, I completed master course at Hanoi Medical University specializing in clinical biochemistry and



biomolecular in 2010. During this time, by the instruction of my teachers, I gained so much experiences not only technique, management in laboratory but also methodology in research. I came to Japan in October, 2014 with receiving Japanese Government scholarship. I start the 4 years doctoral course at Hepatology department in April, 2015. At the beginning, because of new environment and distinct language, I met various difficulties. Being helped of Prof. Kawada and many friends in our laboratory, I passed the trouble period. Now, I enjoy both my private and scientific life here.

// 肝胆膵内科 トピックス 【2014年4月～2015年3月】

- Apr. 1 : 田守先生が大阪市立大学附属病院 病院教授に就任しました
- Mar. 3 : 厚生労働省科学研究費 (河田・村上・萩原) の更新が認められました
- Feb. 27 : 当科入局予定の森口寛子先生が「日本消化器病学会研修医奨励賞」(JSGE Junior Resident Award)を受賞しました
- Feb. 17 : 榎本先生の Sequential 療法の長期成績についての論文が JICR に accept されました
- Dec. 12 : Le Thuy 先生の Cygb KO による肝発がんに関する論文が Am J Pathol に accept されました
- Nov. 24 : 博士研究員伊丹さんの miRNA による遺伝子治療に関する論文が Mol Ther Nucleic Acids (IF 6.8) に accept されました
- Nov. 24 : 寺西先生のアセトアミノフェン肝障害に関する論文が Lab Invest に accept されました
- Nov. 24 : 村上先生の HBV 治療の新規開発に関する論文が BBRC に accept されました
- Jul. 31 : 村上先生の HCC における miRNA 発現プロファイルに関する論文が PLOS ONE に accept されました
- Jun. 9 : 打田先生の透析患者に対する HCV 療法の論文が J. Virology & Antiviral Research に accept されました
- May. 27 : 榎本先生の HBV 非侵襲的線維化診断に関する Review が WJG に accept されました
- May. 2 : 萩原先生の膵癌に関する研究課題が厚生労働省科学研究費に採択されました
- Mar. 25 : 藤井先生の Alcoholic liver disease に関する Review が WJG に accept されました

大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 外来表

	月	火	水	木	金
1 診	榎本 大	田守 昭博	河田 則文	榎本 大	田守 昭博
2 診	小塚 立蔵	村上 善基	森川 浩安	小塚 立蔵	村上 善基
3 診	元山 宏行	打田 佐和子	打田 佐和子	寺西 優雅	萩原 淳司
4 診	-	川村 悦史	川村 悦史	-	元山 宏行

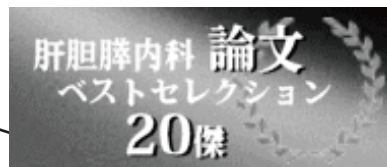
大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療部附属クリニック MedCity21
 総合診療エリア 肝炎・肝炎卒後 専門外来 のご案内 【完全予約制】
 ☎ 06-6624-1324 【月～金・9:00～17:00】

月：9:00～12:00 (河田)
 火：17:30～20:00 (森川)
 金：13:00～16:30 (遠山)

肝胆膵病態内科学ホームページの主な更新内容(2014年6月～2015年5月)



論文ベストセレクション20傑の
 コーナーを新設しました!



トップページのこちらのバナーから
 ページに飛べます。

編集後記

本 年度は、新進気鋭の研修医4名を迎え肝胆膵内科も活
 気づいています。
 個性あふれる4名のこれからをご期待ください。(A.T.)

HEPATOLOGY NEWS

肝胆膵病態内科学ニュース

第12号 2015年6月 発行



発行者 / 大阪市立大学大学院医学研究科
 肝胆膵病態内科学

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

TEL: 06-6645-3811 FAX: 06-6645-3813

編集委員 / 田守昭博